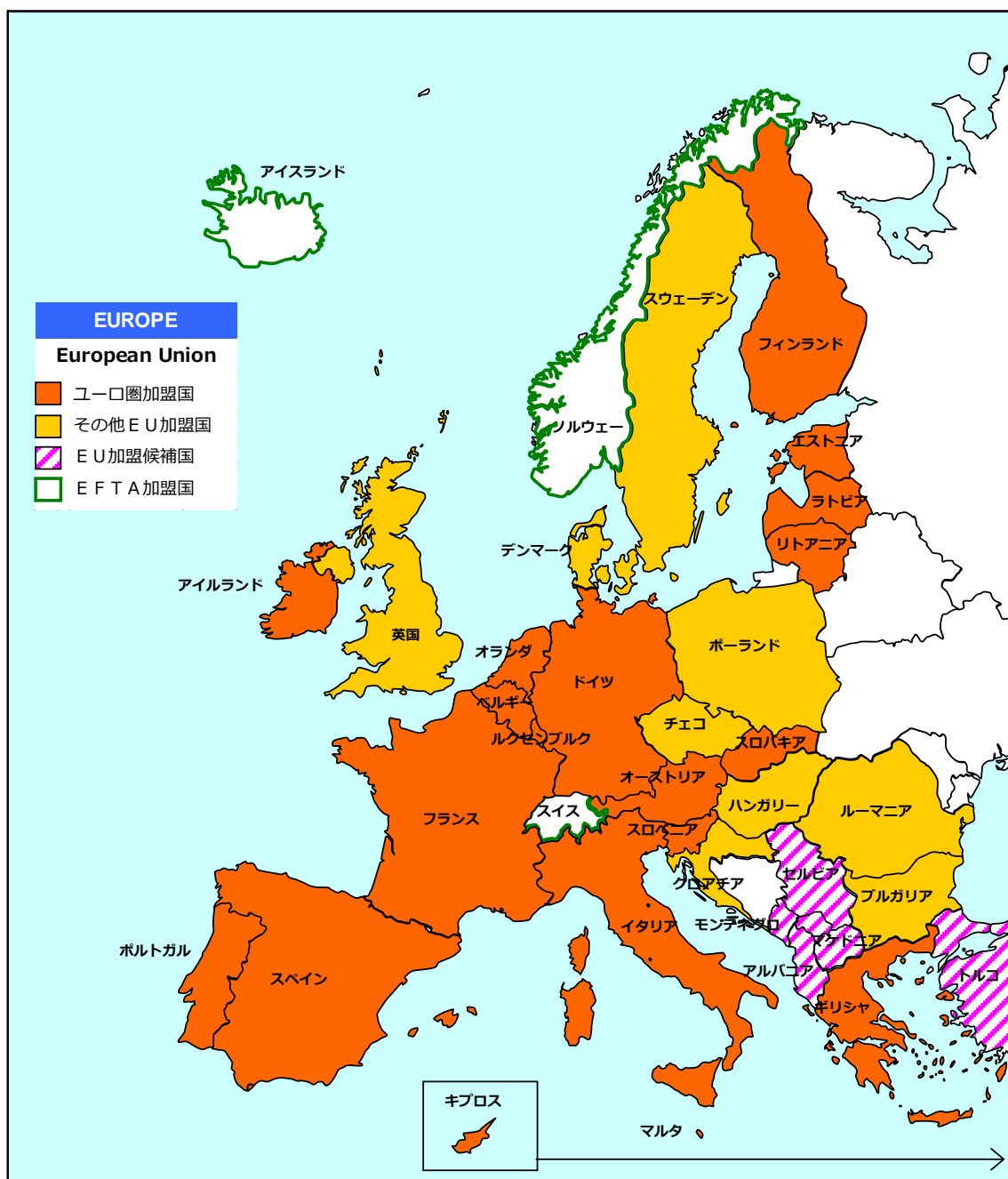


# 欧州経済アップデート (2018.3)

経済調査部  
研究員 矢澤 朋子

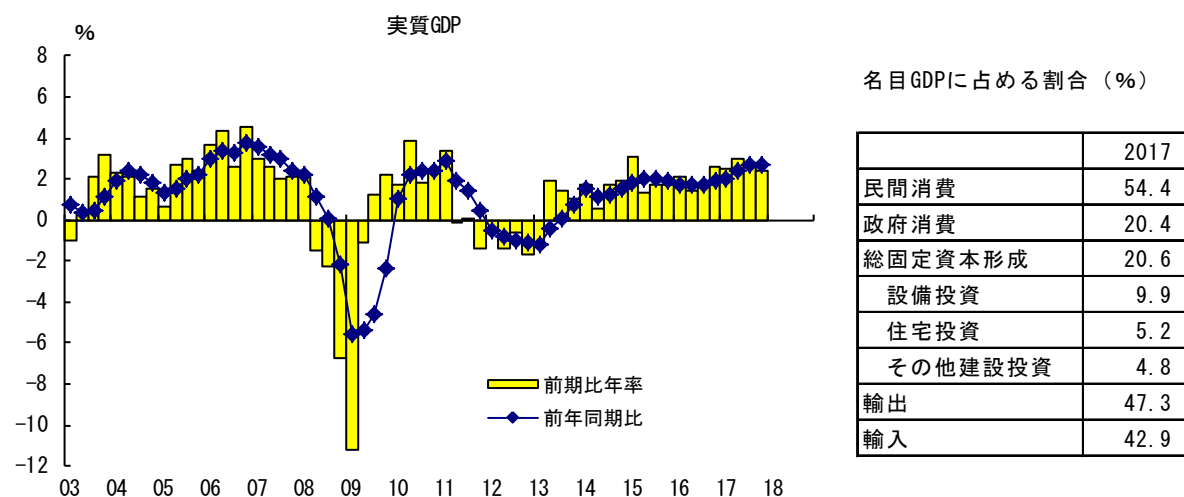


出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

図表作成：リサーチ業務部データバンク課

## ユーロ圏 GDP

- 17年Q4の実質GDP成長率は、前期比+0.6%とわずかに減速。前年比では+2.7%とQ3と変わらず。ユーロ圏としては、高い成長率が続く
- 個人消費は、前期比+0.2%と14年Q1以来の低水準となった。一方、総固定資本形成は同+0.9%とプラスに転換した
- 輸出は前期比+1.9%、輸入は同+1.1%とそろって加速したが、純輸出の寄与はやや縮小



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4
実質GDP	0.8	0.3	0.4	0.4	0.5	0.4	0.4	0.6	0.6	0.7	0.7	0.6
個人消費	0.4	0.4	0.5	0.5	0.7	0.3	0.3	0.5	0.5	0.5	0.3	0.2
政府消費	0.5	0.2	0.5	0.4	0.8	0.3	0.2	0.3	0.2	0.4	0.4	0.3
総固定資本形成	1.3	0.1	1.1	1.4	0.5	2.4	0.7	0.8	0.2	1.7	-0.2	0.9
設備投資	1.9	0.8	1.8	1.5	0.3	4.8	-0.1	1.1	-1.0	2.9	-1.2	1.0
住宅投資	-0.2	0.0	0.6	1.3	1.3	0.6	2.0	0.8	0.9	0.8	1.3	0.8
その他建設投資	1.4	-1.2	0.1	1.3	-0.1	-0.9	1.2	0.0	2.0	0.2	0.4	0.7
輸出	2.5	1.4	0.3	1.1	0.4	1.3	0.4	1.6	1.3	1.2	1.6	1.9
輸入	2.8	0.9	1.1	1.8	0.4	2.0	0.6	1.8	0.2	1.8	0.6	1.1

ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

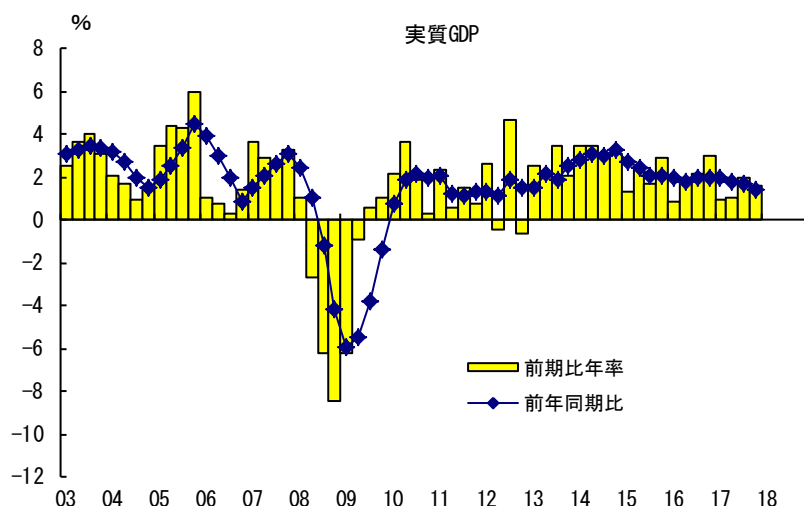
	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4
実質GDP	0.77	0.32	0.42	0.43	0.53	0.36	0.41	0.64	0.63	0.73	0.68	0.60
個人消費	0.24	0.24	0.25	0.25	0.40	0.16	0.18	0.30	0.26	0.29	0.19	0.09
政府消費	0.10	0.05	0.10	0.08	0.17	0.06	0.04	0.06	0.05	0.08	0.09	0.07
総固定資本形成	0.25	0.02	0.21	0.28	0.09	0.49	0.15	0.16	0.03	0.36	-0.05	0.18
設備投資	0.19	0.08	0.18	0.15	0.03	0.50	-0.01	0.12	-0.11	0.31	-0.14	0.11
住宅投資	-0.01	0.00	0.03	0.06	0.06	0.03	0.10	0.04	0.05	0.04	0.07	0.04
その他建設投資	0.07	-0.06	0.01	0.06	-0.00	-0.04	0.05	0.00	0.09	0.01	0.02	0.03
在庫変動	0.23	-0.25	0.19	0.11	-0.21	-0.13	0.13	0.16	-0.23	0.22	-0.04	-0.18
輸出	1.12	0.62	0.13	0.50	0.20	0.63	0.18	0.77	0.61	0.56	0.77	0.92
輸入	-1.16	-0.36	-0.46	-0.77	-0.15	-0.85	-0.27	-0.80	-0.09	-0.78	-0.26	-0.49
純輸出	-0.04	0.27	-0.33	-0.28	0.05	-0.22	-0.09	-0.03	0.52	-0.22	0.51	0.44

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

\* このレポートに掲載しているユーロ圏データに関するおことわり  
 ユーロ圏とは、EU加盟国のうち単一通貨ユーロを導入し、金融政策を欧州中央銀行（ECB）に委ねている国々のこと。15年1月にリトアニアが19番目の加盟国となった。このレポートに掲載されているユーロ圏のデータは、14年以前のデータもすべて19カ国ベースである（Eurostatが19カ国ベースの遡及データを公表）。

## 英国 GDP

- 17年Q4の実質GDP成長率は前期比+0.4%、前年比+1.4%と共にQ3から減速
- 輸出は前期比-0.2%と減少に転じた。相手先別で見ると、ウエイトの高いEU向け輸出が減速している。輸入は同+1.5%とQ3から加速し、純輸出は大幅なマイナス寄与となった
- 個人消費は前期比+0.3%とQ3と比較してわずかな減速であるが、17年通年では前年比+1.7%と16年の同+2.9%から大幅に減速。消費者物価の大幅な上昇が影響している



名目GDPに占める割合（%）

	2017
民間消費	65.8
政府消費	18.4
総固定資本形成	16.8
政府部門	2.7
企業部門	9.3
民間住宅投資	3.4
輸出	30.5
輸入	31.9

英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4
実質GDP	0.3	0.6	0.4	0.7	0.2	0.5	0.5	0.7	0.2	0.3	0.5	0.4
個人消費	0.9	0.7	0.9	0.4	0.7	1.0	0.8	0.3	0.4	0.3	0.4	0.3
政府消費	-0.0	0.6	0.3	-0.4	1.0	-0.3	0.0	0.0	-0.1	0.4	-0.0	0.6
総固定資本形成	2.8	1.4	-3.1	0.1	0.7	2.0	1.1	0.7	0.8	1.2	0.7	1.1
政府部門	-0.9	2.1	-6.2	-3.5	-0.4	10.5	0.2	-2.2	-6.9	12.7	-1.7	5.6
企業部門	5.2	0.1	-3.3	0.1	-0.0	0.7	1.3	-0.1	0.7	0.5	0.9	0.0
民間住宅投資	1.1	6.4	-2.1	1.8	2.1	1.1	2.2	3.5	3.9	-2.1	2.5	1.4
輸出	-0.0	2.0	-1.0	1.9	-1.5	2.8	-1.8	5.2	-0.0	1.7	0.2	-0.2
輸入	1.3	-1.5	0.8	3.2	0.2	1.0	3.3	-1.0	1.0	0.5	1.0	1.5

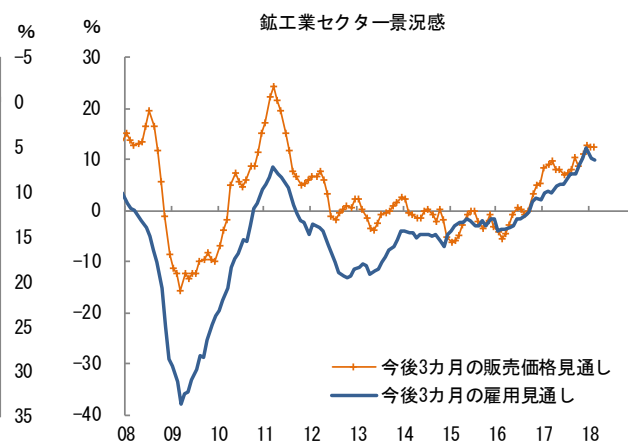
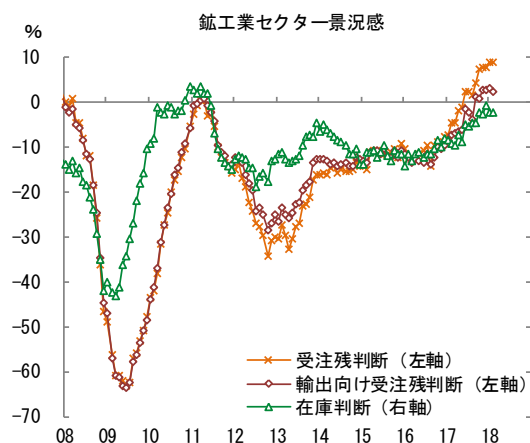
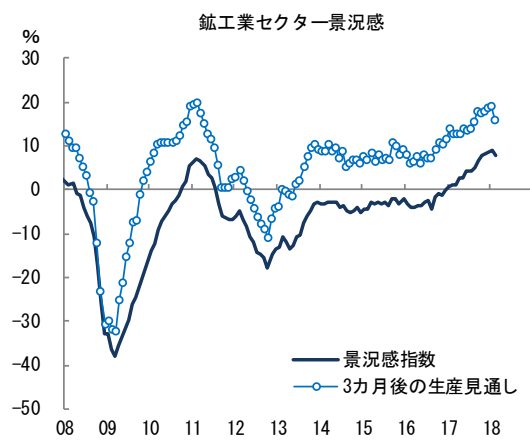
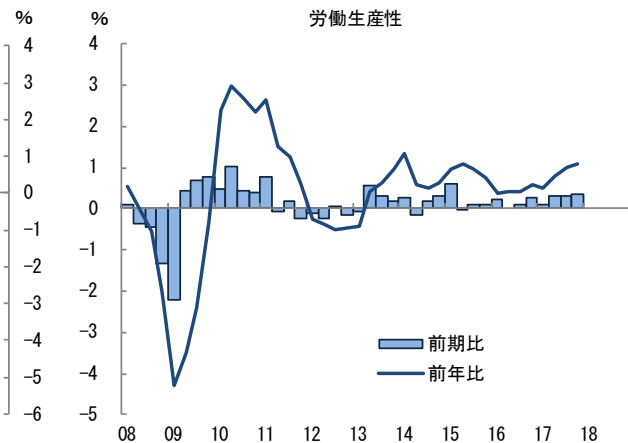
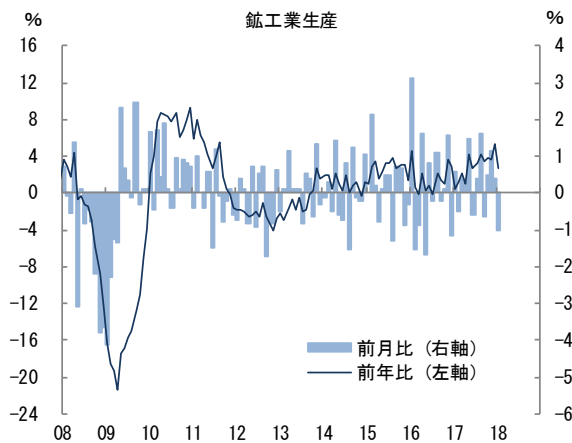
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4
実質GDP	0.34	0.57	0.42	0.73	0.21	0.48	0.54	0.75	0.23	0.27	0.50	0.39
個人消費	0.61	0.44	0.62	0.29	0.46	0.68	0.53	0.18	0.24	0.17	0.24	0.21
政府消費	-0.01	0.12	0.06	-0.07	0.18	-0.05	0.00	0.00	-0.02	0.07	-0.00	0.11
総固定資本形成	0.46	0.23	-0.53	0.02	0.12	0.32	0.18	0.11	0.13	0.20	0.12	0.18
政府部門	-0.02	0.06	-0.17	-0.09	-0.01	0.26	0.01	-0.06	-0.18	0.31	-0.05	0.15
企業部門	0.49	0.01	-0.32	0.01	-0.00	0.07	0.12	-0.01	0.06	0.05	0.08	0.00
民間住宅投資	0.03	0.20	-0.07	0.06	0.07	0.03	0.07	0.12	0.13	-0.07	0.09	0.05
在庫変動	0.53	-3.01	0.61	0.98	0.06	-1.07	1.25	-1.21	0.29	-0.41	0.43	0.39
輸出	-0.00	0.54	-0.28	0.50	-0.42	0.76	-0.50	1.41	-0.00	0.49	0.06	-0.06
輸入	-0.38	0.45	-0.22	-0.92	-0.07	-0.30	-0.98	0.30	-0.31	-0.16	-0.30	-0.47
純輸出	-0.38	0.99	-0.50	-0.41	-0.49	0.46	-1.48	1.71	-0.31	0.33	-0.25	-0.52

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

## ユーロ圏 生産

- 1月の鉱工業生産は前月比-1.0%とマイナスに転落し、前年比も+2.7%に減速した。主要因はエネルギー生産の減少で、同分野は前月比、前年比共にマイナスに転落
- 2月の鉱工業セクターの景況感指数は1月と比べて悪化。すべての構成項目が悪化した。中でも生産見通しの悪化が目立つ
- 17年Q4の労働生産性は、前期比+0.3%とQ3から変わらず。前年比では+1.1%とQ3の同+1.0%からわずかに上昇

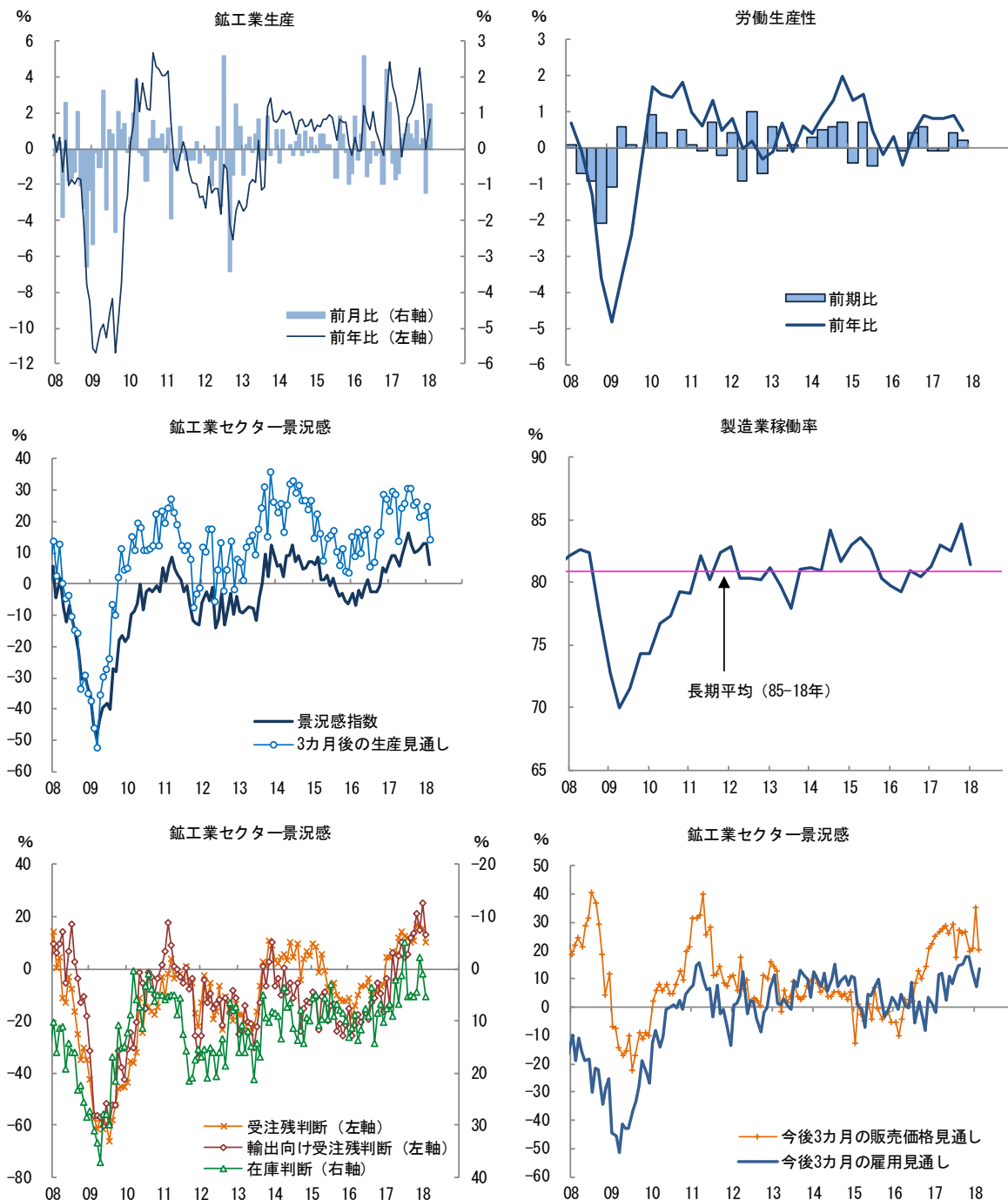


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

## 英国 生産

- 1月の鉱工業生産は、12月に約3週間閉鎖されたフォーティーズ油田の再開で前月比+1.3%に反発。そのうち、製造業生産は68年2月の統計開始以来の9カ月連続の増加
- 2月の鉱工業セクター景況感は17年4月の水準まで悪化。すべての構成項目が悪化した。特に生産見通しの悪化が顕著である
- 輸出处向け受注残判断、販売価格見通しも大きく悪化する中で、雇用見通しのみ改善した

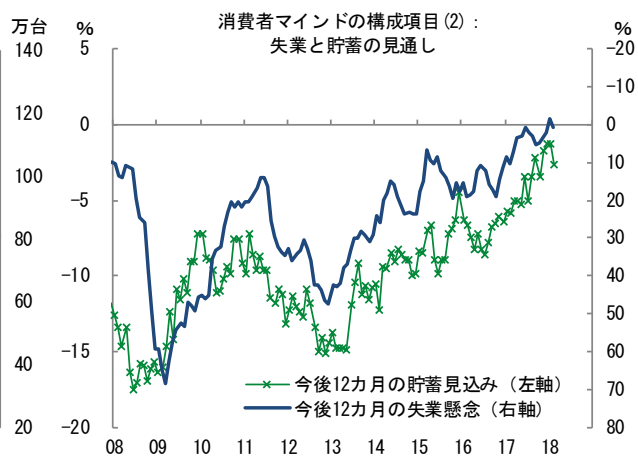
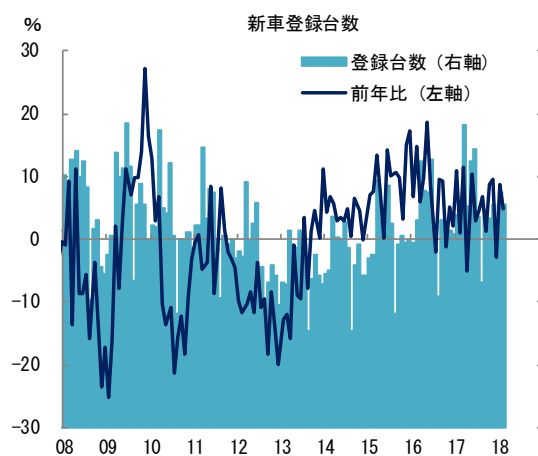
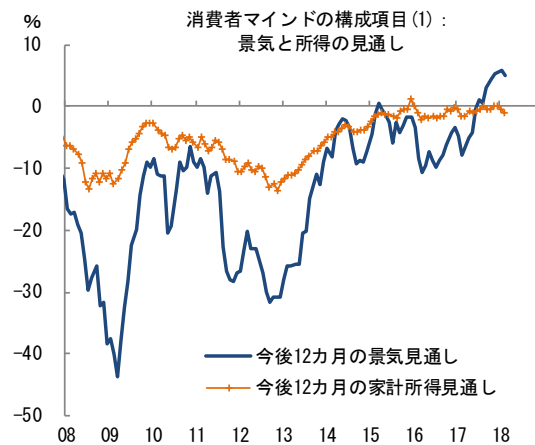
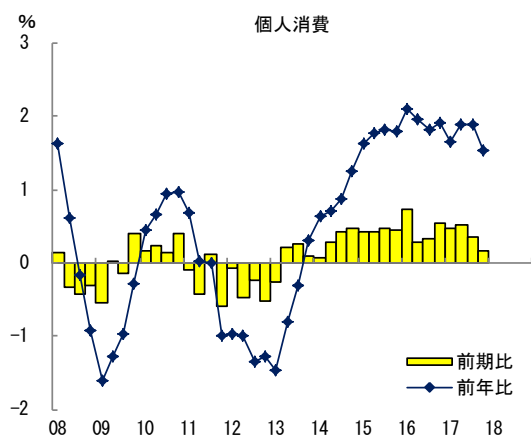


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会、Haver Analytics データより大和総研作成

## ユーロ圏 消費

- 17年Q4の個人消費は前期比+0.2%、前年比+1.5%と共にQ3と比べて減速した
- 1月の小売売上高は、非食品売上の伸び加速により前年比+2.3%。2月の新車登録台数は同+4.9%と1月より減速するも、堅調な伸びとなった
- 3月の消費者マインド（速報値）は2月から変わらず、高水準を維持している

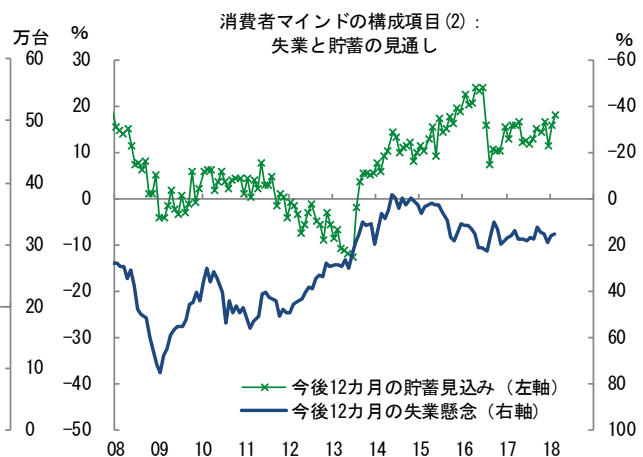
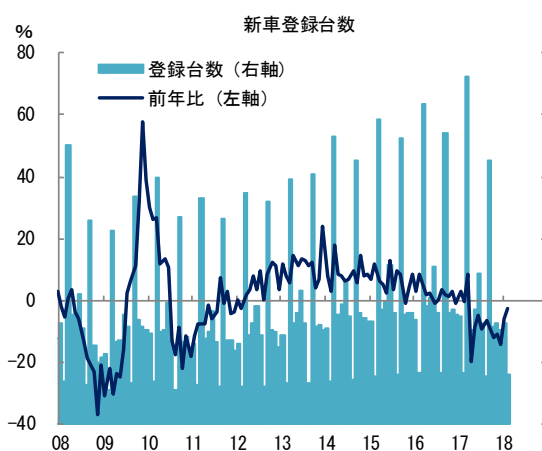
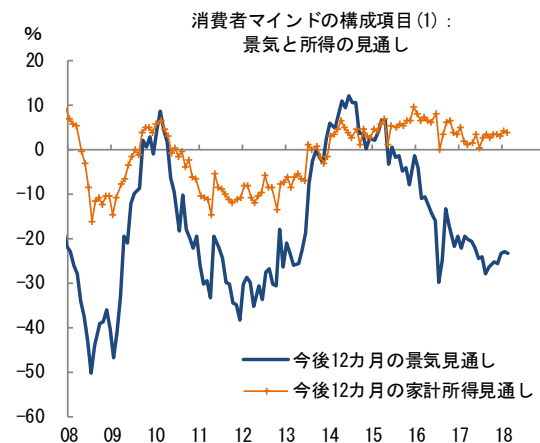
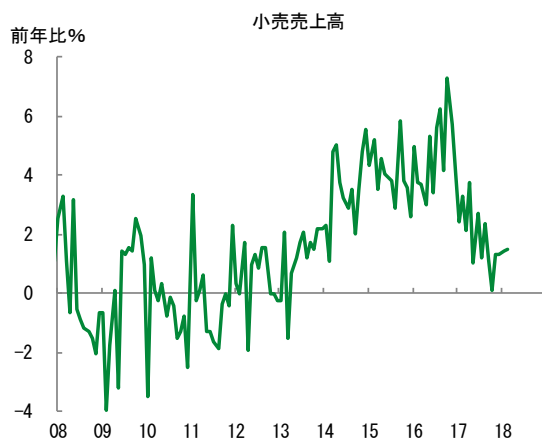
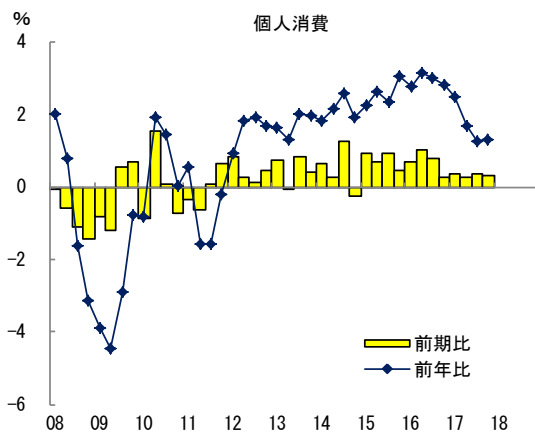


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

## 英国 消費

- 2月の小売売上高は、前年比+1.5%と加速するも弱い伸び。内訳を見ると、無店舗売上が大きく増加する一方、食品売上は、食料品店での価格上昇により前年比での減少が続く
- 2月の新車登録台数は前年比-2.8%とマイナス幅が縮小したが、マイナス圏を脱せず
- 2月の消費者マインドは小幅に改善。構成項目のうち、景気見通しと家計所得見通しはやや悪化

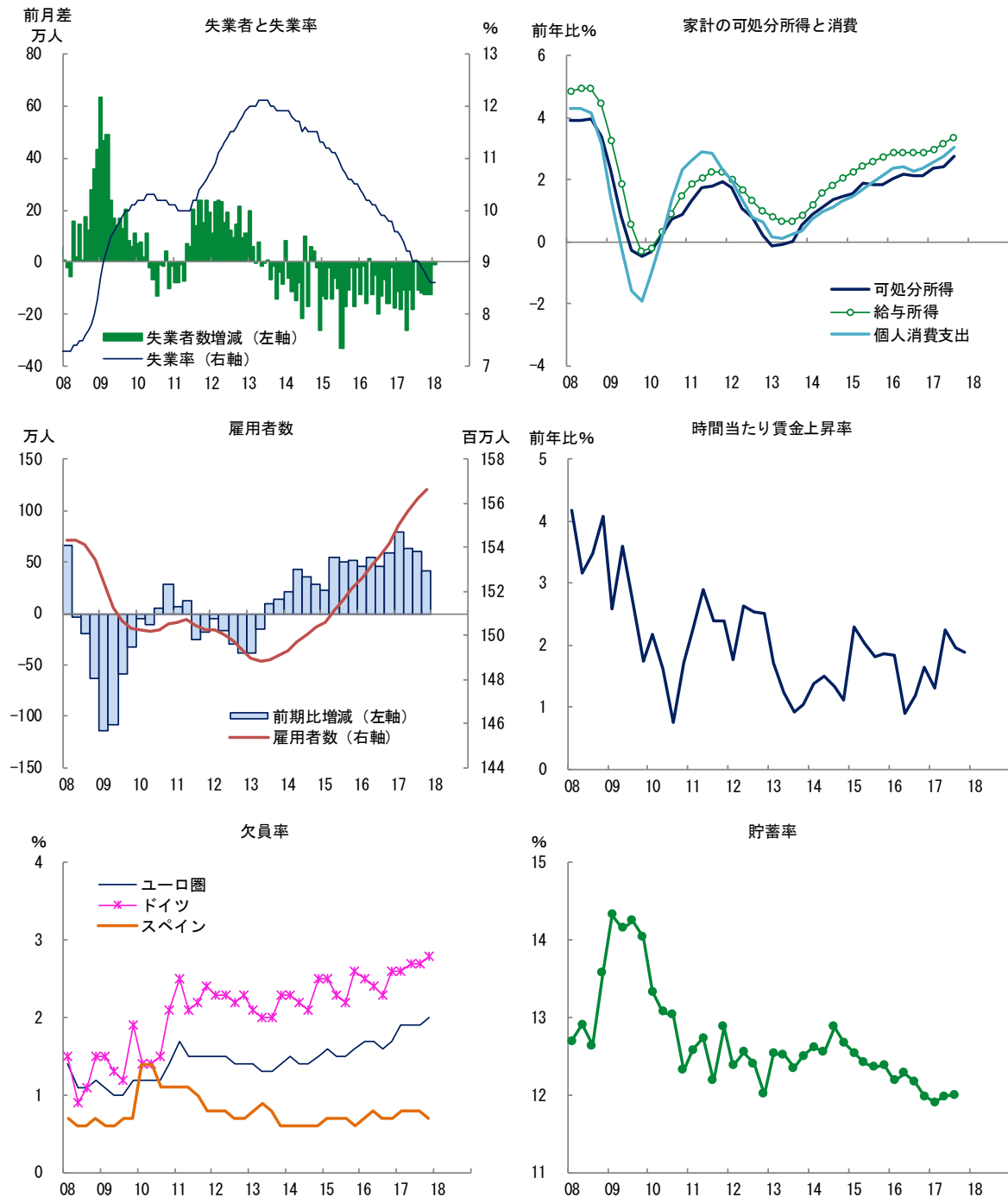


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

## ユーロ圏 雇用・所得

- 17年Q4の雇用者数は、95年Q1の統計開始以来の最高水準を更新。17年通年では、前年比+1.6%と07年以来の大幅増を記録
- 17年Q4の時間当たり賃金上昇率は、前年比+1.9%とQ3の同+2.0%からわずかに減速
- 1月の失業率は8.6%と12月と変わらず。08年12月以来の低水準が続く



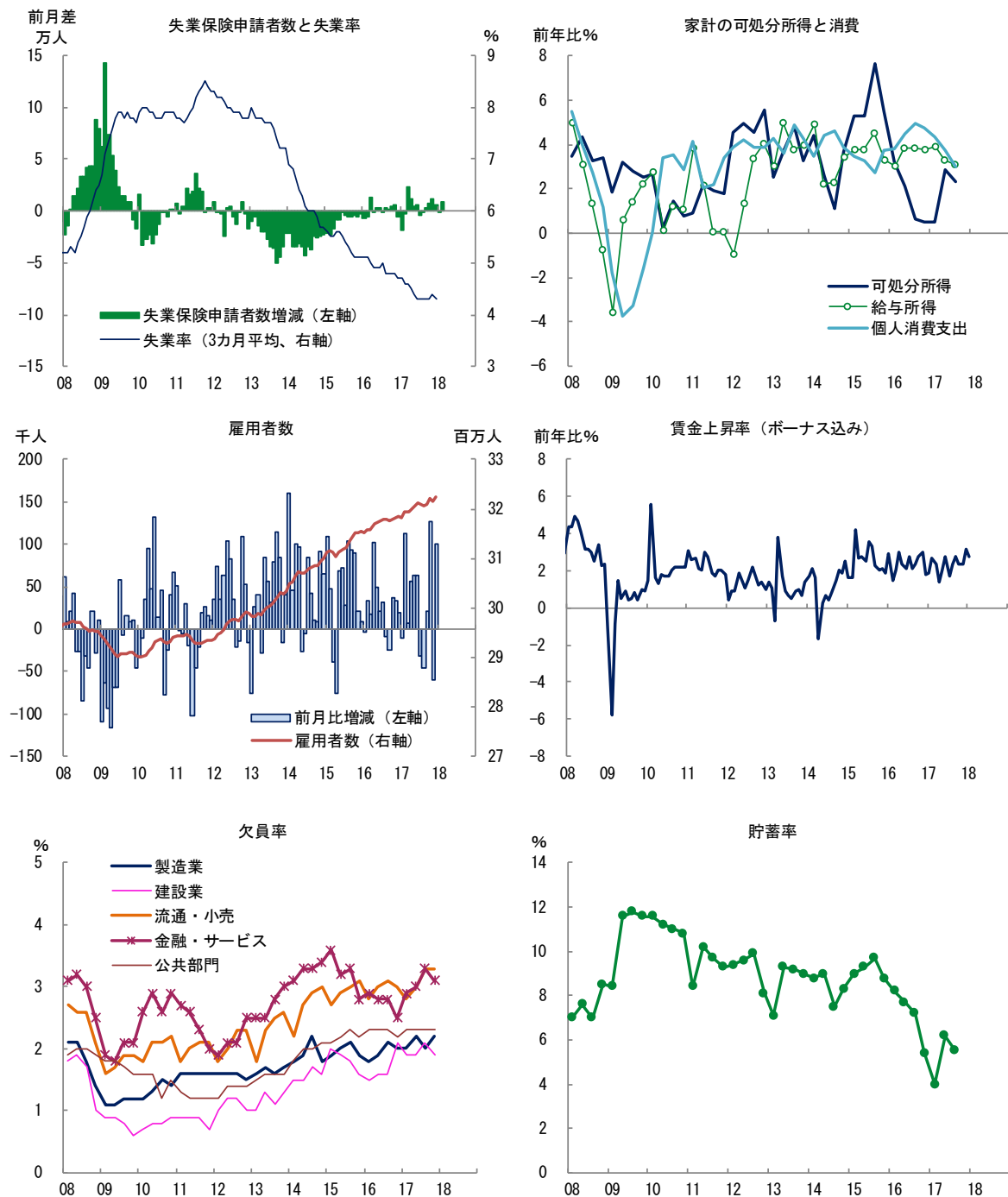
注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) \* 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成



## 英国 雇用・所得

- 11-1 月平均の失業率は 4.3%に低下し、再び 75 年以来の低水準を記録
- 11-1 月の雇用者数は、71 年 2 月の統計開始以来の最高水準を更新した。失業者数も減少しており、労働需給がひっ迫している
- 1 月の賃金上昇率は前年比+2.8%と 12 月からやや減速。ただし、3 カ月移動平均で見ると、伸び率は緩やかに上昇している

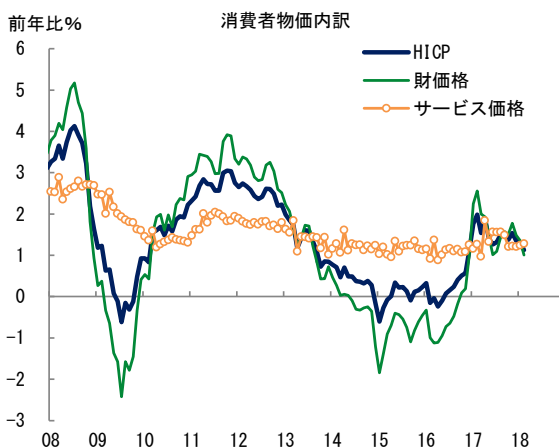
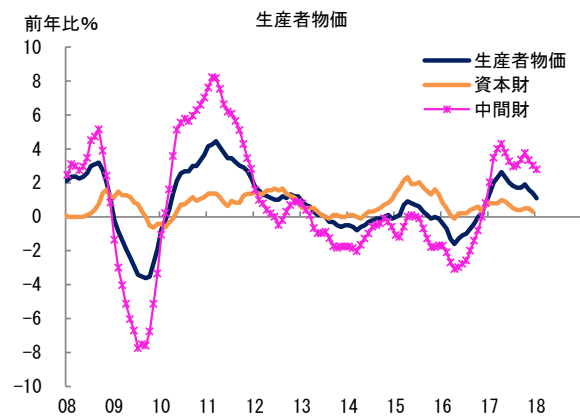


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) \* 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

## ユーロ圏 物価

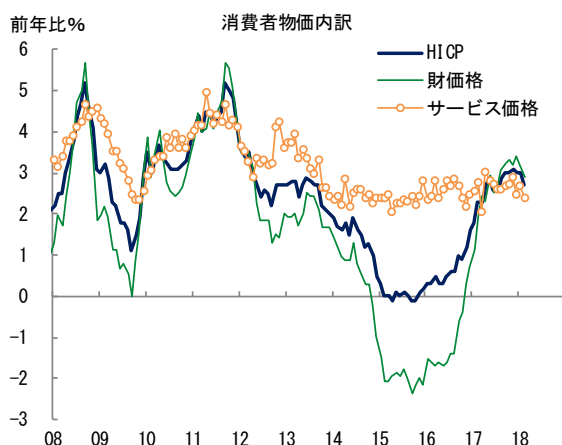
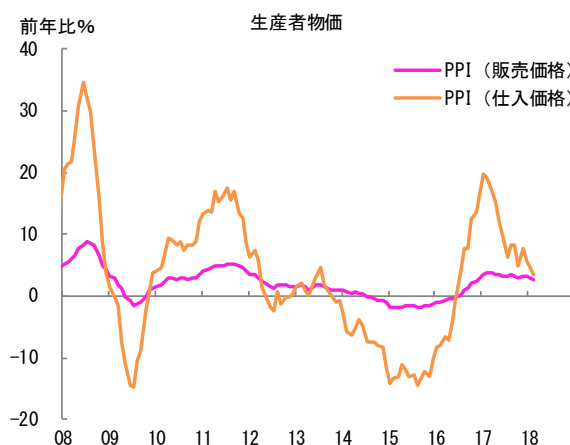
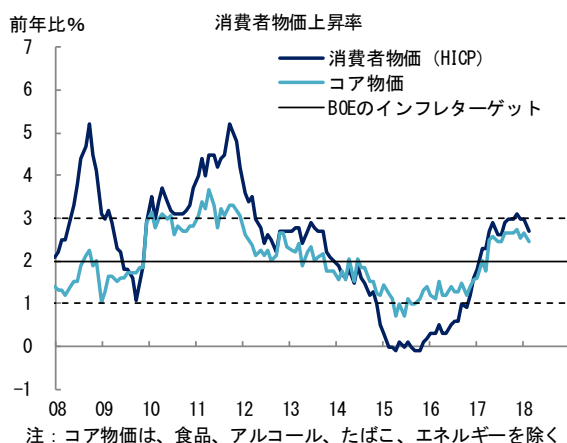
- 2月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+1.1%と1月の同+1.3%から減速。野菜などの非加工食品価格が下落に転じた。コア物価は、同+1.0%と1月と変わらず
- 1月の生産者物価は前年比+1.1%と減速傾向が続いている
- 12月の輸入物価は前年比+2.9%と11月から減速。ユーロ高に加え、工業製品価格の減速が影響している



出所：Eurostat、ECB、Haver Analytics データより大和総研作成

## 英国 物価

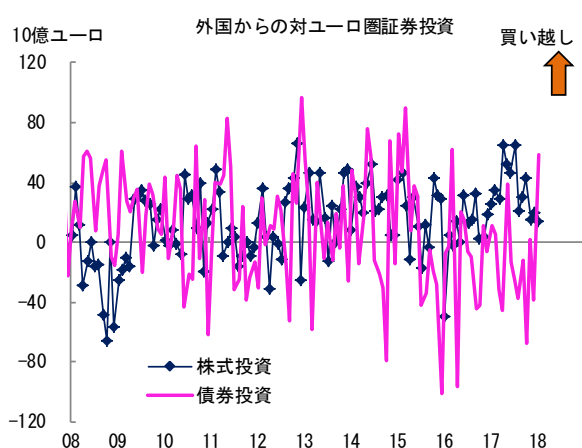
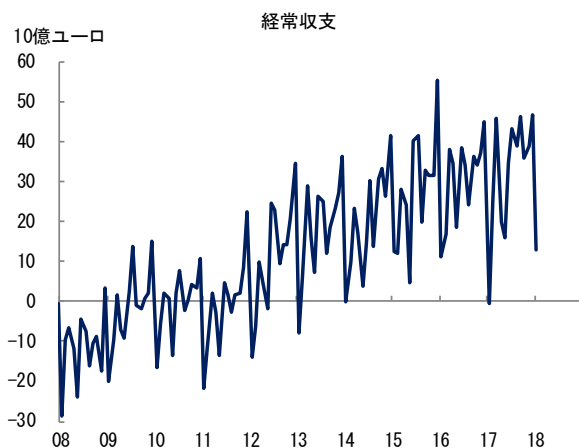
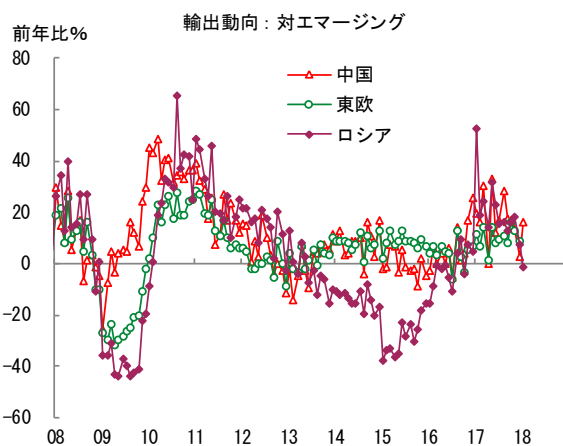
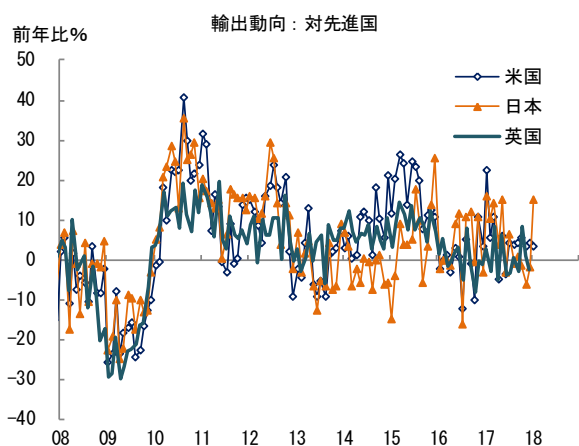
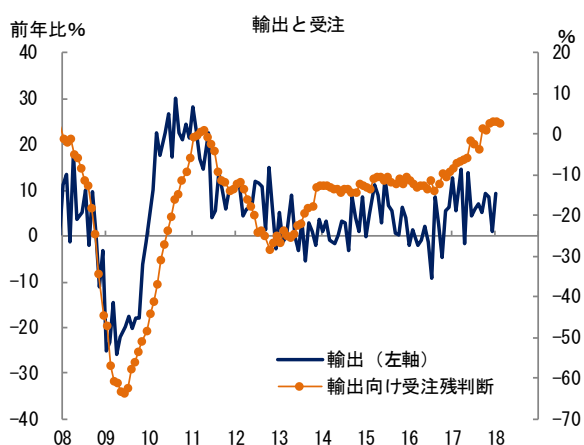
- 2月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+2.7%と1月の同+3.0%から減速した。コア物価も同+2.4%に減速
- 2月の生産者物価のうち、仕入価格は原油等の価格が大きく減速した影響で、前年比+3.4%と伸び率縮小。販売価格も同+2.6%に減速
- 1月の輸入物価は前年比+2.0%に減速。ポンド高も影響していると考えられる



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

## ユーロ圏 国際収支

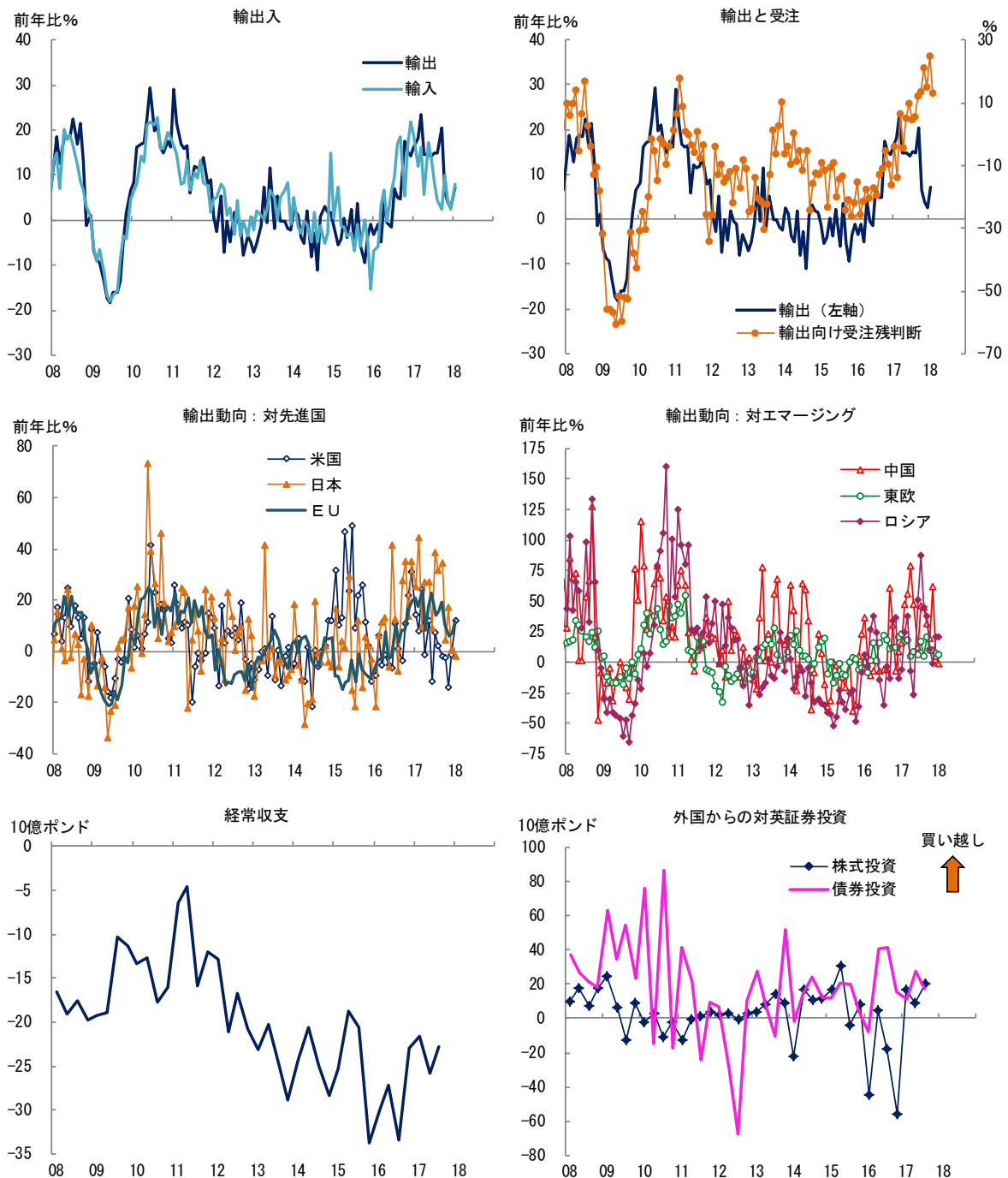
- 1月の輸出は前年比+9.1%、輸入は同+6.3%とそろって加速。輸出では工業製品、輸入では工業製品及び食品・飲料・たばこが大きく増加した
- 1月の輸出相手先別では、日本向けが3カ月連続の前年割れから大幅な増加に転じた。また、中国向けも同二桁の伸びを回復。一方、ロシア向けは16年10月以来の前年割れに転じた
- 1月の外国人投資家による対ユーロ圏証券投資は、債券投資が16年3月以来の大幅な買い越しを記録。株式投資は、16年4月以降買い越しが続いている



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

## 英国 国際収支

- 1月の輸出は前年比+7.3%と12月から加速。燃料が同プラスに転換し、工業製品も増加幅が拡大した
- 輸入も前年比+7.9%に加速。食品・飲料・たばこ及び工業製品の輸入が拡大に転じた
- 輸出相手先別では、米国向けが4カ月連続の前年比マイナスから同+12.1%に転じ、EU向けも同+11.7%と二桁の伸びを記録。一方、日本及び中国向けは前年割れに転落した



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成